

令和元年5月29日

三重城救難所 開所ご挨拶

ナハ・シー・パラダイス共同企業体
三重城救難所 所長 白石武博

この度三重城救難所を開所いたしました波の上うみそら公園は、私どもナハ・シー・パラダイス共同企業体が2016年4月より指定管理者として那覇港管理組合より受託を受け本年度で4年目となります。

本公園は、80隻以上の契約船舶のある三重城小船溜まり、および年間約8万人のご利用がある海水浴場の波の上ビーチが施設に含まれており、現に那覇市におけるマリンレジャーの起点として機能しております。

那覇港の港湾施設としての活性化利用に寄与する一方で、これまで那覇港内においては、民間による水難救助の拠点となる役割の施設がないという現状もございました。

水難救助に関しましては、那覇海上保安部の活動が何よりも最大の頼みであることは言うまでもございませんが、私どもも民間としてできる範囲において、この恵まれた施設の環境を生かし、微力ながら水難救助に貢献すべく、この度琉球水難救済会へ、「三重城救難所」の開所を依頼した次第です。

沖縄は、日本の中でも特にマリンレジャーの観光業に占める割合が非常に大きい反面、マリンレジャー中の事故についても通年発生しております。また、島嶼地方ならではの海域を利用し、近海では漁業も盛んにおこなわれておりますが、単独での漁も珍しくなく、船舶に異常が発生した場合に救助の要請に苦慮するという事態も多々ございます。

本救難所の開所により、より多くの方が救助の機会を得られるように微力ながら尽力いたしますとともに、この波の上うみそら公園が、マリンレジャーの起点だけでなく、水難救助の起点ともなるように、今後の活動を行なって参ります。

最後に、本救難所の開所に多大なるご協力を頂きました、琉球水難救済会の皆様に感謝を述べると共に、関係機関の皆様も含めまして、引続き当方活動に、ご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具